

業績目録（平成27年）

教室・部門名 疼痛・緩和医療学教室

(A-a) 英文著書

- 1 Kanbayashi Y, Hosokawa T: Peripheral Neuropathies Especially in Cancer Patients: In Focus on Chemotherapy-induced Peripheral Neuropathies and Post-Herpetic Neuralgia: Horizons in Cancer Research. Volume 57, edited by Hiroto S. Watanabe Nova Science Publishers, (New York), pp.71-84, 2015

(A-b) 和文著書

- 1 細川豊史. がん性疼痛（がん治療に伴う痛みも含む）. メカニズムから読み解く痛みの臨床テキスト, 小川節郎 編, 南江堂:29-34, 2015.
- 2 大西佳子, 細川豊史. 非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）. 誰にでも理解できる緩和ケアの実践書. 花岡一雄 編. 克誠堂出版, 東京:pp33-41, 2015.
- 3 細川豊史（編）. 慢性疼痛治療—現場で役立つ—オピオイド鎮痛薬の必須知識. 医薬ジャーナル社, 東京:2015.
- 4 上野博司, 細川豊史. ⑩各疾患におけるオピオイド治療の実際 4)有痛性糖尿病性ニューロパチー. 慢性疼痛治療—現場で役立つ—オピオイド鎮痛薬の必須知識. 細川豊史(編),医薬ジャーナル社, 東京:219-229, 2015.
- 5 深澤圭太. オピオイド鎮痛薬での慢性疼痛治療の実際 7)退薬症候とその管理. 慢性疼痛治療 現場で役立つオピオイド鎮痛薬の必須知識. 細川豊史 編. 医薬ジャーナル社, 大阪: pp143-147, 2015.
- 6 権哲, 細川豊史. ⑪がん患者の非ガン性慢性疼痛. 慢性疼痛治療 現場で役立つオピオイド鎮痛薬の必須知識. 細川豊史 編. 医薬ジャーナル社, 大阪: pp239-247, 2015.
- 7 大西佳子, 細川豊史. ⑧オピオイド鎮痛薬での慢性痛通治療の実際 1)同意書. 慢性疼痛治療—現場で役立つ—オピオイド鎮痛薬の必須知識. 細川豊史(編),医薬ジャーナル社, 東京:96-105, 2015.
- 8 谷口彩乃. ⑤本邦で慢性疼痛に使用可能, もしくは近い将来使用可能なオピオイド鎮痛薬の特徴と注意点 2) フェンタニル. 慢性疼痛治療現場で役立つオピオイド鎮痛薬の必須知識. 細川豊史 編. 医薬ジャーナル社, 大阪: pp53-60, 2015.

- 9 山代亜紀子. ⑤本邦で慢性疼痛に使用可能、もしくは近い将来使用可能なオピオイド鎮痛薬の特徴と注意点 3)トラマドール、トラマドール／アセトアミノフェン配合錠. 慢性疼痛治療 現場で役立つオピオイド鎮痛薬の必須知識. 細川豊史 編. 医薬ジャーナル社, 大阪: pp61-68, 2015.
- 10 細川豊史 (編). 緩和医療の今. ペインクリニック 36 別冊秋号 真興交易(株) 医書出版部, 2015.
- 11 細川豊史. 別冊「緩和医療の今」の発刊にあたって. ペインクリニック 36 別冊秋号: S359-S360, 2015.
- 12 上野博司, 細川豊史, 吉岡とも子, 関川加奈子. 2.多様化する役割 2) 緩和ケアセンター. ペインクリニック 36 別冊秋号: S486-S493, 2015.
- 13 深澤圭太. 1.症状緩和の今 5)神経ブロック. ペインクリニック 36 別冊秋号: S412-422, 2015.
- 14 権哲, 細川豊史. 1.症状緩和の今 3)鎮痛補助薬. ペインクリニック 36 別冊秋号: S394-S401, 2015.
- 15 大西佳子, 細川豊史. 1. 症状緩和の今 2)オピオイド鎮痛薬. ペインクリニック 36 別冊秋号: S381-393, 2015.
- 16 原田秋穂, 細川豊史. 1. 症状緩和の今 10) 鎮静. ペインクリニック 36 別冊秋号: S457-464, 2015.
- 17 谷口彩乃, 細川豊史. 1. 症状緩和の今 7)消化器症状. ペインクリニック 36 別冊秋号: S429-438, 2015.
- 18 山代亜紀子, 細川豊史. 4. 包括的アセスメント 1)がんと診断された時からの緩和ケア. ペインクリニック 36 別冊秋号: S595-603, 2015.

(B-a) 英文総説

- 1 Amaya F, Hosokawa T, Okamoto A, Matsuda M, Yamaguchi Y, Yamakita S, Taguchi T, Sawa T. Can Acute Pain Treatment Reduce Postsurgical Comorbidity after Breast Cancer Surgery? A Literature Review. Bio Med Research International. Article ID641508:1-8,2015

(B-b) 和文総説

- 1 細川豊史. 女性がん患者さんへの疼痛ケア: 痛みとストレス. 女性心身医学 19 (3) : 265-266, 2015.
- 2 上野博司, 細川豊史. 緩和ケア. 麻酔科学文献レビュー2015/2016. 秀潤社, 東京: 167-179, 2015.

- 3 細川豊史. 本邦の緩和ケアの現況とこれからの課題. 京都府立医科大学雑誌 124(5) : 321-327, 2015.
- 4 山代亜紀子, 細川豊史. がん性痛ケアの初期段階における上手な薬物の使い方. ペインクリニック 36(5) : 657-664, 2015.
- 5 岡田恵. 差分解説 がん疼痛に対する放射線治療. 日本医事新報 4753 : 56, 2015.
- 6 深澤圭太. V. 超音波ガイド下神経ブロック 2. 腕神経叢ブロック. 整形外科 66(8) : 873-879, 2015.
- 7 細川豊史, 上野博司. 日本緩和医療学会がめざすがん診療. 医学のあゆみ 254(9) : 763-768, 2015.
- 8 細川豊史, 上野博司. 緩和ケアの初期・基礎教育と緩和ケアに携わる専門的医療者(メディカルスタッフ)の育成. 臨床と研究 92(8) : 1035-1039, 2015.
- 9 岡田恵. 差分解説 終末期がん患者と輸液療法. 日本医事新報 4763 : 54, 2015.
- 10 細川豊史. 診断時からの緩和ケアの推進に向けて. 日本医事新報 4769 : 17-20, 2015.
- 11 細川豊史. 「緩和医療：麻酔科ができること」によせて. 日本臨床麻酔学会誌 35(5) : 660, 2015.
- 12 細川豊史. オピオイドの功罪—オピオイドは人類に恩恵を与えたのか、それとも諸悪の権限なのか—. 麻酔 64 増刊号 : 68-77, 2015.
- 13 黒星晴夫, 細川豊史. 症状緩和への対策 がん性疼痛. 臨床 婦人科産科 69 (12) : 1136-1142, 2015.

(C-a) 英文原著

- 1 Kanbayashi Y, Hosokawa T : Peripheral neuropathies especially in cancer patients : Focus on chemotherapy-induced peripheral neuropathies and post-herpetic neuralgia. (Hiroto S, ed : Horizons in cancer research. Vol. 57.) New York, Watanabe Nova Science Publishers, 2015, 71-84, 2015

(C-b) 和文原著

- 1 大西佳子, 細川豊史, 坪倉卓司, 深澤圭太, 上野博司, 権哲, 原田秋穂, 深澤まどか, 山代亜紀子, 谷口彩乃, 波多野貴彦, 田中萌生, 仲宗根ありさ, 岡田恵. 脳腫瘍による難治性頭痛に対してオピオイドが有効であった 2 症例とその機序についての考察. Palliative Care Research 10(2) : 509-513,

2015.

- 2 小川節郎, 細川豊史, 浅野弘明, 土肥篤, 宮永悟, 吉川健一. 帯状疱疹後神経痛を対象とした NS-24 (トラマドール塩酸塩徐放錠) の臨床第Ⅲ相試験—プラセボを対照とした二十盲検群間比較試験 (ランダム化治療中止デザイン) —. 臨床医薬 31(5) : 503-522, 2015.
- 3 岸野恵, 木澤義之, 佐藤悠子, 宮下光令, 森田達也, 細川豊史. 大病院入院中のがん患者の突出痛の頻度に関する予備調査. Palliative Care Research 10(3) : 509-513, 2015.
- 4 山代亜紀子, 細川 豊史. 悪性腸腰筋症候群に対し腰部神経根高周波熱凝固を施行した 2 症例. ペインクリニック 36(7) : 953-957, 2015.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話—神経障害性疼痛治療を中心に—. 第 28 回皮膚科糖尿病循環障害研究会, 2015, 大阪
- 2 細川豊史. ペインクリニックにおける診断の重要性—臨床例から学ぶ多くのこと—. 第 45 回関西ペインクリニック学会学術集会, 2015, 大阪
- 3 細川豊史. オピオイドの功罪—オピオイドは人類に恩恵を与えたのか、それとも諸悪の根源なのか—. 招請講演 8 ; 第 62 回日本麻酔科学会学術集会, 2015, 神戸
- 4 Hosokawa T. Accredited Speciality Board of Pain Clinic in Japan & Cuideline for Pharmacologic Management of Neuropathic Pain. Pain Forum in Beijing University. 2015.6.13; Beijing
- 5 細川豊史. 早期からのがん疼痛緩和の重要性と新しい鎮痛薬—その理論と臨床での上手な使い方—. 教育講演 3 ; 第 9 回日本緩和医療薬学会年会, 2015, 横浜
- 6 細川豊史. IVR とペインクリニック—一歩進んだ緩和ケアにおける症状コントロールのために—. 教育講演 ; 第 5 回緩和 IVR 研究会, 2015, 静岡
- 7 細川豊史. がん地域ネットの理想的なチームを作る. 基調講演 ; セッション「“がんと生きる”をサポート—地域ネットワーク」; 第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015, 京都

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 細川豊史. ランチョンセミナー ; 緩和ケアにおける漢方薬の役割—これだけは知っておきたいエッセンス—. 日本臨床腫瘍薬学会, 2015, 京都

- 2 細川豊史. 麻酔科医と緩和ケア—その現状と将来を見据えて—. シンポジウム「関連領域検討委員会：麻酔科医の次のステップ～より専門的な資格獲得へ～」. 第 62 回日本麻酔科学会学術集会, 2015, 神戸
- 3 深澤 圭太. がん疼痛におけるトラマドールの役割. シンポジウム 6 ; がん疼痛管理：多様化するオピオイドを上手に使いこなすには?. 第 20 回日本緩和医療学会学術大会, 2015, 横浜.
- 4 原田秋穂, 細川豊史, 岡田恵, 上野博司, 山代亜紀子, 谷口彩乃, 大西佳子. 当院緩和ケア病棟における持続的鎮静の現状と問題点. 第 20 回日本緩和医療学会学術大会, 2015, 横浜.
- 5 細川豊史. 本邦におけるこれからの日本ペインクリニックの方向性—日本麻酔科学会、日本緩和医療学会などの関係において—. 「これからのペインクリニックに何を伝えていくか」パネルディスカッション；日本ペインクリニック学会第 49 回大会, 2015, 大阪
- 6 細川豊史. ペインクリニック、緩和ケアにおける在宅医療への取り組みの現状と近未来について—京都府の取組み—. 共催シンポジウム 3；在宅医療でのペインクリニック. 日本ペインクリニック学会第 49 回大会, 2015, 大阪
- 7 上野博司. オールペインクリニックで運営する緩和ケア病棟. シンポジウム；難治性腰下肢痛に対する低侵襲治療の今. 日本ペインクリニック学会第 49 回大会, 2015, 大阪
- 8 深澤 圭太. 超音波ガイド下神経ブロックによる非特異的腰痛へのアプローチ. オープニングシンポジウム；神経学的所見に乏しい腰痛をどのように診断するか. 日本ペインクリニック学会第 49 回大会, 2015, 大阪.
- 9 細川豊史. 「緩和医療薬学会第 10 回年会 JI-RI-TSU ～緩和医療薬学の持続可能性を探る～」：ディベート・シンポジウム. シンポジウム 23；第 9 回日本緩和医療薬学会年会, 2015, 横浜
- 10 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話～慢性疼痛と薬物療法～. ランチョンセミナー；第 31 回北海道ペインクリニック学会, 2015, 北海道
- 11 上野博司. がん疼痛に対する薬物療法 持続痛 ～WHO 方式がん疼痛治療法を使いこなす～. シンポジウム 13；がん疼痛に対する薬物療法（鎮痛薬・医療用麻薬・鎮痛補助薬）（現状とピットフォール）. 臨床麻酔学会第 35 回大会, 2015, 横浜.
- 12 深澤 圭太. ペインクリニック診療における超音波診断 ～よりの確な診断のために～. 特別シンポジウム「ペインクリニックにおける画像診断装置の使い分け」. 第 16 回 エピドラスコピー研究会. 2015, 横浜

- 13 細川豊史. がん性疼痛ケアの最新の話題—CIPN を含めた“がん”に伴う神経障害性疼痛の予防と治療—. イブニングセミナー03 ; 第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015, 京都
- 14 細川豊史. 特別講演 ; ペインクリニックと緩和ケア—がんと診断されたときからの緩和ケアと痛みの治療の重要性そして地域連携—. 東海・北陸ペインクリニック学会北陸地方会, 2015, 富山
- 15 細川豊史. 緩和ケアの現状と展望～緩和ケアにおける漢方薬の役割とその使い方～. ランチョンセミナー ; 平成 27 年度日本東洋医学会関西支部例会, 2015, 大阪

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Yamashiro A, Hosokawa T, Taniguchi A, Onishi K, Fukazawa K, Ueno H, Kanbayashi Y. Analysis of appropriate transfer timing from general ward to palliative care unit for inpatient care and Palliative Prognostic Index at Kyoto Prefectural University. 11th Asia Pacific Hospice Conference. 2015 April 30- May 03; Taipei, Taiwan.
- 2 Keiko Onishi, Toyoshi Hosokawa, Akiko Yamashiro. Discussion of two cases with intractable headache from brain tumor in which opioids were effective and a hypothesis regarding the underlying mechanism. 2015 May 1st ; 11th APHC, Taipei.
- 3 Kishino M. Kizawa Y. Sato Y. Miyashita M. Morita T. Hamano J. Hosokawa T. Which pain scale is easy to use for cancer patients? -A cross-sectional survey-. The 11th Asia Pacific Hospice Conference, 2015.5.1 Taiwan

E 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 1386 万円

公的助成

代表 (総額) ・小計 1376 万円

- 1 厚生労働省科学研究費補助金 がん対策総合研究事業
平成 27 年度 がん拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究 助成金額 1099 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27～29 年度
in vitro 神経傷害モデルを用いた神経障害性疼痛発症のメカニズム解析の研究 助成金額 160 万円

- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）平成 25～27 年度
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発
助成金額 117 万円

分担・小計 10 万円

- 1 厚生労働省科学研究費補助金 がん対策総合研究事業 平成 27 年度
がん拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に
関する研究 助成金額 10 万円

財団等からの助成

該当なし